

1 年歴史ワークシート「武士の台頭と鎌倉幕府」《元寇》

●学習課題

() 号 氏名 (ワークシート記入例)

弘安の役の後、元の使節が国書を持ってやってきた。あなたが執権ならどう対応しますか？

激しい戦いだった弘安の役で、元軍は九州の御家人の頑張りや石塁の効果、暴風雨などにより壊滅的な敗北をしました。その弘安の役の後、元の使節が皇帝の国書を持って再び日本にやって来ました。幕府の執権であるあなたは、①国書を受け入れて使節を元に送り、交流を始める、②国書を拒否し、元軍を迎え撃つ準備をする、のどちらかを選ぶことになりました。

1 上の①、②の対応をした場合、日本（鎌倉幕府）にどのようなメリットとデメリットがあるのかを整理してみたいと思います。じっくり考えて下の表の中にメリットとデメリットを書いてください。

(あとで、友達の見解もここに書き加えてください。)

執権（幕府）の対応	日本のメリット（よい点）	日本のデメリット（問題点）
○国書を受け入れて、使節を元に送る。	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上、御家人が苦しまないですむ。 ・御家人が死なないですむ。 ・幕府の財政も苦しくならない。 ・九州の御家人の警備（異国警固番役）の負担が減る。 ・交流が始まれば貿易によって、こちらにも利益が生まれる。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで作ってきた石塁が無駄になる。 ・大量の南宋の移住者たちを受け入れなければならなくなる恐れがある。 ・あくまでも元が親で、日本が子という上下関係で交流が始まる。 <p style="text-align: right;">など</p>
<p style="text-align: center;">これまでの学習内容を活用させ、考えさせてください。</p> <p style="text-align: center;">①から③の順で整理させると効果的です。</p> <p style="text-align: center;">①個人で考える(自分の知識、概念等を引き出させる)</p> <p style="text-align: center;">②小集団で考える(友達の見解、概念と照らし合わせる)</p> <p style="text-align: center;">③学級全体で考える(学級全体で共有する)</p> <p style="text-align: center;">※生徒の実態に合わせて時間配分を考慮してください。</p>		
○使節の国書を拒否して、元軍を迎え撃つ（戦争）準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの日本（幕府）の外交政策（外国には従わない）が揺るがないことを内外に示せる。 ・南宋からの大量の移住者たちを受け入れなくてすむ。 ・侵略をしてきた国と交流しないですむ。 ・命をかけて戦った御家人が報われる。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次は、元に敗れるかもしれない。 ・負けたら、吉岐や対馬のように多くの住民まで殺される。 ・また石塁を延長して作り続けなくてはならない。 ・九州の守りの兵役（異国警固番役）を続けなくてはならないので御家人の負担が増える。 <p style="text-align: right;">など</p>

2 【資料 1】、【資料 2】の内容とメリット・デメリットの表を参考に、最終的な自分の意思を決定しよう。
【意思決定】

●私が執権なら、

(①国書を受け入れて使節を送り、交流を始める ・ ②国書を拒否して迎え撃つ準備をする)
その理由は、以下の通りです。

理由は、自分なりの表現でよいことを伝え、資料等を用いて書かせてください。
※【資料 1】、【資料 2】については、別添の平成 25・26 年度 佐賀県教育センタープロジェクト研究 小・中学校社会科教育研究委員会 実践事例 13 資料「生徒への配付資料」を参考に御活用ください。

3 班員の意見をメモしよう。(メモできていない人には、いつものようにまわりが応援をしてください)

班員の名前	対応番号	理由をメモしよう
		小グループでの話し合いは、友達の見聞を聞き、視野を広げさせて判断させるために行います。話し合う意味や意義を共有し、話し合わせてください。 ※メモは、端的に、短い言葉でメモできるよう御支援ください。 ※生徒の実態に合わせて、時間配分、人数構成を考慮してください。

5 班の話し合いのあと、鎌倉幕府の執権は、①(国書を受け入れて、使節を派遣する)と、②(国書を拒否して、迎え討つ準備をする)のどちらの対応をしたと思いますか。【意思決定】

①か②で書きなさい。

●理由

本時の話し合いやこれまで学習したこと、資料などを基に、理由を記述させてください。
また、次時の討論を意欲付けとなるように、根拠の述べ方も御指導ください。

最終的な意思決定として、記述させた後、学級全体で意見の数を調べ、支持する対応が分かれていることから、実際の史実を説明し、④の論題を導き出してください。

6 次の課題に対して、あなたはどのように思いますか。思ったことを書いてください。

☆次時の討論のテーマ

鎌倉幕府が、元の皇帝の国書を拒否して、元軍を迎え撃つ準備をしたのは正しかったのか。

●自分の考え (正しかった ・ 正しくなかった)

現段階での自分の考えを表しておく、次時の討論での自分の立場が明らかになります。

1 年歴史ワークシート「武士の台頭と鎌倉幕府」《元寇》

●学習課題 () 号 氏名 ()

弘安の役の後、元の使節が国書を持ってやってきた。あなたが執権ならどう対応しますか？

激しい戦いだった弘安の役で、元軍は九州の御家人の頑張りや石塁の効果、暴風雨などにより壊滅的な敗北を喫した。その弘安の役の後、元の使節が皇帝の国書を持って再び日本にやって来ました。幕府の執権であるあなたは、①国書を受け入れて使節を元に送り、交流を始める、②国書を拒否し、元軍を迎え撃つ準備をする、のどちらかを選ぶことになりました。

1 上の①、②の対応をした場合、日本（鎌倉幕府）にどのようなメリットとデメリットがあるのかを整理してみたいと思います。じっくり考えて下の表の中にメリットとデメリットを書いてください。

(あとで、友達の見解もここに書き加えてください。)

執権（幕府）の対応	日本のメリット（よい点）	日本のデメリット（問題点）
○国書を受け入れて、使節を元に送る。		
○使節の国書を拒否して、元軍を迎え撃つ（戦争）準備をする。		

2 【資料 1】、【資料 2】の内容とメリット・デメリットの表を参考に、最終的な自分の意思を決定しよう。
【意思決定】

●私が執権なら、

(①国書を受け入れて使節を送り、交流を始める ・ ②国書を拒否して迎え撃つ準備をする)
その理由は、以下の通りです。

--

3 班員の意見をメモしよう。(メモできていない人には、いつものようにまわりが応援をしてください)

班員の名前	対応番号	理由をメモしよう

5 班の話し合いのあと、鎌倉幕府の執権は、①(国書を受け入れて、使節を派遣する)と、
②(国書を拒否して、迎え討つ準備をする)のどちらの対応をしたと思いますか。【意思決定】

①か②で書きなさい。

--

●理由

--

6 次の課題に対して、あなたはどのように思いますか。思ったことを書いてください。

☆次時の討論のテーマ

--

●自分の考え (正しかった ・ 正しくなかった)